

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 1 枚目

実施年月日	第 32 期 第 3 回 運営審議会			令和 4 年 8 月 3 日実施
会 場	中央公民館 301・302 講座室	傍聴人	0 人	
出席者	委員		阿部 雄生、井上 経久、笠原 直美、齋藤 義明、 佐藤 美紀子、塩田 美幸、司山 園美、鈴木 昌 清、藤瀬 竜子、渡辺 和美	
	事務局	中央公民館	渡部 和人、岡村 瑞穂、今城 敬子、鴨井 理紗	
		鳥屋野地区公民館	原 政之	
		東地区公民館	片桐 康正	
	関屋地区公民館	関口 亨		
議題等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 新潟市の公民館の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市の公民館について ・公民館の利用状況について <p>(2) 令和 3 年度 公民館事業報告</p> <p>(3) 令和 4 年度 公民館予算及び令和 4 年度公民館事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 ・主な予算について ・事業計画 <p>(4) その他</p>			
審議された議題及び報告について以下に記載する。				
開会				
渡部中央公民館長あいさつ				
(1) 新潟市の公民館の現状について				
中央・渡部館 長	資料 1 により、公民館の現状について説明。			
中央・岡村管 理係長	資料 2 により、公民館の利用状況等について説明。 ※配布資料の訂正（資料 2 下段※ 1 月 29 日を 1 月 24 日に訂正）			
藤瀬議長	それでは、資料 1 の公民館の現状についてと資料 2 の公民館の利用状況について ご説明いただきましたが、この 2 つにつきまして、何かご質問、あるいはご意見 等おありでしょうか？ (質問・意見なし)			
(2) 令和 3 年度 公民館事業報告				
藤瀬議長	時間短縮のため、質疑応答から始めるとのことですが、事務局から補足説明をお 願いします。			
中央・渡部館	資料説明は省略し、事前配布して読み取っていただいた資料をもとに、ご意見を			

長	いただく旨を説明。
藤瀬議長	<p>横長の A 3 の裏表の資料をご覧いただき、一番左の列のところに基本施策ということで 1 番から 5 番まで書いてありますので、その基本施策ごとにご質問・ご意見を承りたいと思っております。</p> <p>まず、1 番の「人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援」につきまして、ご意見・ご質問がありましたら、どうぞお出してください。</p> <p>(質問・意見無し)</p>
藤瀬議長	<p>それでは 2 番の基本施策の方に移らせていただいてもよろしいでしょうか？</p> <p>2 番の基本施策は、「家庭における教育力向上の支援」ということで各館の事業が並んでいますが、この基本施策について、ご質問・ご意見等ありましたらどうぞお出してください。</p>
井上委員	<p>中央公民館の「オンライン公民館」に興味を持ちました。「Web 会議システム Zoom を利用して参加者と公民館をつなぎ、学び合う機会を提供する」と書いてありますが、2 つほど聞きたいのですが、Zoom を使ってここにいない方とつなぎながらやったのかを確認したい。もう 1 つは、ここにいない方、ご自宅などで当然 Zoom でも経験的に言うと、使いにくさというか、うまくこちらが思ったように向こうがアクセスできないようなトラブルがあったことがあるのですが、そういったことはなかったか、あるいはそういったことがあった場合、どのように対処したか教えてください。</p>
藤瀬議長	それでは事務局お願いいたします。
中央・今城	<p>「オンライン公民館」は、昨年度は、乳児期のお子さんを持つご家庭に対して「ゆるやか子育てカフェ」と題して参加者をオンラインでつないで講座をおこないました。全部で 4 回おこなっております。ご質問については、こちらでも結構手厚く、つながっていない場合は、(紙に)書いて「どうですか？」というような感じで伝えたり、色々なことに対して想定して講座を進めておりますので、問題という問題はなかったです。あとは、直前になって、お一人だけ辞退された方がいらっしゃいました。</p> <p>オンラインなので、育児休業中のお父さんの参加が 2 名ありました。オンラインのいいところは、お子さんを家でみながら夫婦そろってご参加いただけるということです。広報段階でもチラシ等にもお父さんの参加を呼び掛けた結果、参加</p>

	<p>いただきました。</p> <p>対処方法については、担当でないので、詳しいことをお答えできないのですが、その都度その都度解決していく方法で対処し、大きな問題はなかったと認識しております。</p>
井上委員	<p>相手が見えない状態ですから、お互い解決策を共有されていたかどうかとお聞きしました。参考になりました。ありがとうございました。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「オンライン公民館」という事業になりますが、中身を聞いてみますと、乳幼児のお子さんを持つ親御さんを対象にした「ゆるやか子育てカフェ」ということになるんですね。名前を聞きましたら、Zoom を学ぶ講座と思いましたが、そうではなかったんですね。このようなことが事業として普通に流れているということが、ここ 2 年くらいコロナの影響をいかに取り込んでいくかというような話題が多かったので、本当に進んできているなあというふうに感じました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
中央・今城	<p>追加で説明させていただきます。よくある問題として、音が聞こえないというのがよくあるのですが、そういう時には、画面は映ることが多いので、担当の方でリアクションカードやスケッチブックを用意しておいて、それを見せて「どうですか？」というような方法で対応しています。音の問題が多いというのは聞いております。</p>
藤瀬議長	<p>そのほか委員のみなさまいかがでしょうか？</p>
司山委員	<p>2 つ聞きたいことがあります。</p> <p>中央公民館の「乳幼児期家庭教育学級休日版」ですが、「平日の講座に参加できない乳幼児の子どもを持つ保護者を対象に開催」とあるのですが、実際にこういう要望があったので、休日版というのを作ったということでしょうか？</p>
中央・鴨井	<p>今まで乳児期向けの講座というのが、平日の午前中に実施されているのがほとんどでした。そうすると、必然的に参加できるのが、お仕事をされていない女性の方が 100% というような状況が続いていまして、昨年度担当した職員の方で、乳児期から夫婦で、男性も育児に関わってほしいという思いから、パパも参加できる休日に開催をするというのではないかとということで、休日版という形で開催しております。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 4 枚目

司山委員	狙い通りパパも参加されていますか？
中央・鴨井	<p>昨年度の実績ですが、受講決定数が 14 人、そのうち半分が男性で、去年は夫さんだけで参加したという人もいたと聞いております。担当の方で、平日参加できない方をターゲットにして、おそらく最初は、妻に連れられて渋々来たという人が多いだろうということは予想していたが、参加するということに意義があると考えて、参加してもらっただけでよいと思っていたが、事業をやってみるとそうではなくて、夫がお客様ではなくて、夫さんが主体的に参加して欲しいと担当者の考えが変わり、今年度の休日版は、パパ版ということでパパが主としてやっていく事業に切り替えていく予定です。</p>
司山委員	<p>もう一点なのですが、東地区公民館の幼児期家庭教育学級土曜日版ですが、土曜日にスポットを当てたところが、なぜ日曜日ではなく、なぜ土曜日なのかということと、今年度、同じ名前の事業が無かったがなぜかというのが気になったので教えてください。</p>
東・片桐館長	<p>例年ずっと土曜日版ということで、日曜日にやるよりも、土曜日の方が翌日休みだしお父さんお母さん達も明日が休みだったら今日出てみようかというところもあって、土曜日に実施しています。</p> <p>ちょうどここにも書いてあるのですが、主な連携先というところで、少年合唱団があるのですけれども、この合唱団はうちの定期利用団体の登録団体に活動日がちょうど土曜日ということもあって、土曜日に開催した方がよいだろうと。</p> <p>そうすると、去年一昨年はコロナで、合唱団なので、発表の場がなかったというところで、こういうところで、歌うだけでなくレクがあったり、手遊びがあったり、小さいお子様からすると、少年合唱団の小学生から高校生までの少し身長の高い仲の良さそうなお兄さんお姉さんとワーワーぎゃーぎゃー言って楽しい時間を過ごせると。本当はコロナなので、もう少しおとなしく過ごしてほしかったのですが、そうもいなくて。合唱団の方もなかなか発表ができないけれども発表ができるというメリットもありますし、こういったところで発表することによって、少年合唱団を認識してもらえると、もしかすると少年合唱団に入ってもらえるというところがあります。</p> <p>今年度、土曜日版はなぜやらないかという点については、もともと土曜日版は冬にやっていたので。四季で言うなら、春から秋にかけては親御さん外に出ることができるけれども、冬なら、近くの公民館で体を動かせるんじゃないのということで冬やっていたんですけれども。ただいかんせん、うちの公民館は駐車場がなく、冬だと駐車場が無いので、土曜日版をやるとしたらその日が晴れている保証</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 5 枚目

	<p>も無いですし、駐車場が空いている保証も無いので、今年は別の所でやろうということ。一応この土曜日版は終わりにして、今年もう一度幼児期家庭教育学級と復帰セミナーをやってみようかということで話し合い、土曜日版はお休みさせてもらっています。</p>
<p>司山委員</p>	<p>利用団体や学生ボランティア等、サポーターの方々の関わっている活動のようだったので、また違う形で継続することを聞いたのでよかったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>そのほかこの施策についていかがでしょうか？</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>3年度のことだけではないと思うのですが、乳児期家庭教育学級とか家庭教育学級で、参加者から来た疑問とかこうでありたいというお父さんやお母さんたちの気持ち・要望は全館で共有することがあるのでしょうか？単館で共有してこういう講座を作ろうって言っているのか、そういうのを吸い上げて市として家庭教育学級に取り込もうとしているのか、そのへんを教えてください。</p>
<p>中央・ 渡部館長</p>	<p>主にゆりかご学級になってきますけれども、各館で募集の時期も違ってきますので、全館 25 館で意見を吸い上げてひとつにまとめて意見を共有するかというと、基幹公民館単位ではやっているかもしれませんが、全体ではしておりません。地域事情も違いがあったりしますので、そこは各区に任せております。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>そのほか 2 番の基本施策について、いかがでしょうか？ それでは、3 番にうつらせていただきます。 3 番「青少年の生き抜く力を育む機会の創出」こちらについていかがでしょうか？</p>
<p>阿部委員</p>	<p>子どもの居場所づくりということで事業をあげていただいています。公民館に行ったり色んな公共施設に行くと、子ども達が、静かに一生懸命勉強している姿があって、そういうスペースを与えていただけてありがたいと思いますし、大人の目でそうやって見ていただいていることにも感謝したいなと思っています。 それぞれの公民館の事業を見させていただくと、スペースを開放するというような形で自由に机を使って勉強しているというパターンだと思うんですけど、東地区公民館の事業の中で、「青少年の居場所作り、フリースペース、若者同士の交流、大人との交流により相互理解を図る」という部分があって、ただ単にスペースを</p>

	<p>開放することではなくて、色々な方との関わり合いの場を作るというようなことが読み取れるんですけど、具体的にはどんなふうな形でそういう機会を設定しているのかということをご説明いただくとありがたいと思います。</p> <p>その下の方でも、「個人学習の支援をはかる」、この支援は、あくまでも場所を提供するという支援なのか、学習をアドバイスしてくれる人がいるのかというあたりをお願いいたします。</p>
東・片桐館長	<p>中高生の「学習支援を図る」というところでは、場所の提供だけです。</p> <p>上の方の、「相互理解を図る」というところで言うと、去年ですと、マジック同好会というのが公民館の利用団体にあるので、にマジックを披露してくださいということで、その中で子ども達も一緒に、たぶんマジックってテレビでしか見たことがないと思うので、マジックを身近で見てもらって、自分達でもできるような、こういったことを公民館で学んできたよってことを家の方でできるようなことで、メビウスの輪を紙で作るようなことをしたりしました。</p> <p>これがそれになるか分からないのですが、公民館の利用団体でオカリナを作る団体があったので、子ども達と一緒にオカリナを作りませんかというような提案をさせてもらいました。これは、やろうとしたのが夏休みの時期で、お願いをしたのが6月でした。だんだん夏にかけてコロナが蔓延してきて、公民館利用団体のサークルさんも高齢者が多いので、今年は中止させていただきますということで、オカリナを作る団体の方からお断りがあり中止になりました。</p>
阿部委員	<p>小中高生を対象に告知をして、こういうふうなことがあるんだけど集まりませんか？という案内を出して自由に集まってきて一緒に参加してやるという、そういうスタイルでしょうかね？</p>
東・片桐館長	<p>はい。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。そのほか、3番の基本施策いかがでしょうか。 (意見・質問なし)</p> <p>では、次にいかせていただきます。</p> <p>4番の「高齢者の学習支援や社会参加の促進」こちらでご意見・ご質問がある方は、どうぞお出してください。 (意見・質問なし)</p> <p>それでは、次の施策に移ります。裏面5番目「現代的・社会的課題を探り、問題</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 7 枚目

	<p>解決を促す学習機会の提供」こちらの基本施策に移らせていただきます。ご意見・ご質問がある方はどうぞお出してください。</p>
<p>司山委員</p>	<p>中央公民館の「若者向け事業」というのがすごく気になったのですが、たぶん公民館をあまり利用していない世代であろう 20 代 30 代を対象にしているのではないかなという気がしたんですけど、どういう活動を具体的にされたのかということと、参加人数が 4 名ということで、これが多いのか少ないのか何とも言えないのですが、どういう会だったか教えてください。</p>
<p>中央・今城</p>	<p>若者向け事業は、「ユースセミナー」として、毎年中央公民館で 20 代 30 代の方向けに実施している事業なのですが、昨年度は、学生連携事業と若者向け事業を合体させておこなったものになります。</p>
	<p>運営審議会委員の井上さんにも講師として来ていただいたものになるのですが、昨年は、「若者×地域人～新潟へのオモイを話そう～」ということで、主に学生連携事業で活動している若者を対象におこなった事業になりました。それでちょっと参加人数も少ない形になっています。</p>
<p>司山委員</p>	<p>募集を広くしたというよりは、もともとある事業の参加者の方に声をかけて、その継続版というようなイメージでいいのでしょうか？</p>
<p>中央・今城</p>	<p>はい、そうです。昨年度に限っては学生連携事業と若者向け事業を合体させておこなったということになります。</p>
<p>司山委員</p>	<p>今後の方向性としては、これはどんなふうにして広がっていくのでしょうか？</p>
<p>中央・今城</p>	<p>昨年度、学生連携事業で色々お話しをお聞きした中で、今後は学生が何かをしようというふうに、今、企画を頑張っているところです。</p>
	<p>あと今年度は、若者向け事業としては本来の 20 代～30 代の若者を対象にした「ユースセミナー」をやる予定でおります。</p>
<p>司山委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
	<p>たぶん、私も公民館を利用して思うのは、小学生くらいまでは公民館にたまに遊びに行く機会があったりするのですが、中学生・高校・大学、就職してからあたりは、あまり利用する機会がなくて、また出産だとかそういうきっかけで、それこそプレママだとかそういうサポートがあるので、また公民館を利用し始めたなんていうきっかけになるのかなと思うんですけど、ここに書いてあるような、</p>

	<p>「生涯学習と出会うきっかけ」というところは、たぶん 20 代 30 代の頃に色々と勉強してやっていくべきなのかなと私自身も感じているので、参加者がもっと増えたらいいなというところと、若い人たちが主体になって、そういう参加者が集まるような企画がふくらんでいくとすごくいい事業になるんじゃないかと思いました。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご質問・意見、すべて今後に向けてという発展的なご意見だというふうに承っております。昨年度こうした、ということだけではなく、そこからそれをどう分析して次の事業に結び付けていくのかというところを委員のみなさま、やはり関心を持って投げかけられているように思いますので、今年度の事業の時にもそのへん、議論していけたらと思います。</p> <p>5 の分野、他にご意見ご質問ありますでしょうか？</p>
渡辺委員	<p>鳥屋野のスマートフォン活用講座ということで、今年館長さん変わられたんですけど、昨年の会議の時に、色々スマートフォンの使い方とか講習とかちょっと難しいということで色んな意見が出たのですが、どんな感じで進めていかれたのか、参考までに教えてください。</p>
鳥屋野・原館長	<p>私もこの 4 月から参りまして昨年のこの事業の概要をよくは承知していないんですけども、通信事業者の方から講師をしてもらいまして、スマートフォンの使い方等について講義をしていただいたということまでは承知しているんですけども、具体的な内容については、今ご説明できなくて申し訳ないです。必要があればまた担当から聞き取ってお伝えしたいと思います。</p>
藤瀬議長	<p>昨年度の会議で話題になったところでしたので、もしまた何かの機会にご報告いただけたら幸いです。</p>
井上委員	<p>先ほど司山委員からご質問があった若者向け事業で、私は講師として参加させていただきました。映画館の支配人として参加させていただきました。</p> <p>もともとは、学生さんのスタッフの方から、野外上映会をしたいという申し出がありまして、それで計画していたのですが、なかなか費用とか時間など、学生さん達が思うよりもちょっとハードルが高かったということもあって、頓挫しました。そこで代替案として、若者と若い人たちと交流のある大人を集めて話を聴くという機会を設けたんだと思います。</p> <p>当日は私も含めて（講師として）4 名参加がありまして、私と、本町で、#きー</p>

	<p>ぼう do. というスペースをやっている方と、印刷所の野崎さんという方、そしてお一方、新潟商工会議所にお勤めで、それこそ若い世代のうちから公民館活動に関わってきた方が、割と私たちと学生さん達の間立つような世代の方がいらしてお話しをしていました。彼女の方から、公民館活動がいかにか自分の成人後の活動に役立つかというお話がされていたので、ちゃんと種が蒔かれているんだなと感じました。それが大きな幹になるまではまだ至っていませんが。活動自体は有意義だったと思いますので、これからも色々工夫しながら、この事業を継続していただくことを希望いたします。</p>
藤瀬議長	<p>井上委員、ありがとうございました。</p> <p>今の井上委員のお話しでちょっと質問したいんですけど、商工会議所の方ですかね、若い時から公民館活動に触れていられて、それがとても役に立ったというお話しでしたが、具体的にどんなところが役に立ったというようにお話しはお有りでしたか？</p>
井上委員	<p>記憶でものを言ってしまうて申し訳ないんですけども、それこそ保護者の方々との交流の中で、子どもとして参加していたと。料理教室であったり、何かおもちゃを作るような活動等に参加して公民館に関わることが楽しかったと。今、もう成人されまして仕事をされているんですけども、彼女自身が若者達の交流活動を公民館で、という想いがあって、少しずつ、サークル活動的なものですかね、を始めているという話をしていました。</p>
藤瀬議長	<p>今お話しを伺いまして、私事になるんですけども、こども食堂を大学生とやっているんですけども、これも地域の方や子どもへの活動でもあるんですけども、場所がコミュニティハウスでやっているものですから、その場所に対して子どもさんがちょっといい感情を持ってもらったり、それから、地域の人となにかやるっていいんだなあみたいな思いを持っていただけると、一時はお忙しかったりして、社会人としてなかなか地域の活動から一旦は離れる時期があると思うんですけども、また親になられてからとかその後とか、やっぱり子どもの頃楽しかったここで何かやってみようかなみたいな、そんなふうな長い先を見た種ですけども、そんなこともあるといいなと思いながらもやっておりますので、今の井上委員のお話しを聞いて、あ、なるほどそんなふうにしてらっしゃる方が多いんだなと思ってとても嬉しく思いました。ありがとうございます。</p> <p>それでは、6 番の「その他」の方にいきたいと思うのですが、いかがでしょうか？ (質問・意見なし)</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 10 枚目

(3) 令和 4 年度公民館予算及び令和 4 年度公民館事業計画について	
藤瀬議長	議題の（３）令和 4 年度公民館予算及び令和 4 年度公民館事業計画について、はじめに、公民館事業の基本方針について、資料 4 になりますが、事務局からご説明をお願いしたいと思います。
渡部館長	資料 4 により公民館事業の基本方針について説明
岡村管理係長	資料 5 により公民館の主な予算（管理部分）について説明
中央・今城	資料 5 により公民館の主な予算（事業部分）について説明
藤瀬議長	資料 4 と資料 5 についてあわせて、ご質問・ご意見おありの方どうぞ。
笠原委員	資料 5 の歳出のところで、地域コミュニティ活動活性化支援事業の予算が無くなったというご説明をお聞きしましたが、資料 4 のところに、1 番に「人づくり地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援」というふうとうたっているのですが、なぜ予算が無くなってしまったのかお聞かせいただければと思います。
中央・渡部館長	各区で地域コミュニティ事業というのを予算化してやっていたのですが、少しずつ予算削減の波が来て、今年はゼロになったということです。 ただ、基本施策に「人づくり・地域づくり」とうたっているのではないかということなんですが、資料 5 の裏面にある公民館事業全体の中で事業を考えるようにという財務当局からの指示もあり、こちらの方は予算がなくなって、令和 4 年度からは、公民館事業で工夫をしながら捻出しているというそういった状況になっています。
藤瀬議長	私から一点お願いいたします。資料 4 の基本方針のところになりますけれども、今、ご説明頂きましたけれど、これまでの事業や参加者の方のご意見、社会の状況を踏まえて、令和 3 年にはなかった、令和 4 年の新しい部分、今年はこれに力を入れようという部分があったら教えていただきたいと思いました。
中央・渡部館長	令和 3 年度から 4 年度にかけて、この基本方針自体は概ね変えてはいませんので、やる事業としては、例えばこの事業を集中的に特化していこうね、というように言えるものではありません。 今、念頭においているのは、このコロナ禍の中で、中止にするのは簡単だが、いかに中止にせず感染対策をしながら事業を回していくか、みなさまに集ってい

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 11 枚目

<p>藤瀬議長</p>	<p>ただき、学んでいただくかということです。その前の年（令和3年度）は、休館時期も結構ありましたので、今年は行動制限は今のところは無いですから、なるべく事業を回しながらということでやらせていただいています。</p> <p>そのようにお伺いすると、確かに開催方法が幅広く、柔軟になっていることが分かりました。</p> <p>他に資料4・資料5につきましていかがですか？</p> <p>（意見無し）</p> <p>引き続きまして、令和4年度の公民館事業計画にうつりたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>中央・渡部館長</p>	<p>施策ごとに全部で6のカテゴリがあり、それぞれのカテゴリごとに2事業ずつ、全部で12事業について各館から説明させていただきます。</p>
<p>鳥屋野・原館長</p>	<p>まず、「1. 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援」について、当公民館の出前授業について説明させていただきます。</p> <p>当公民館の出前授業は、上山中学校・上山小学校・鳥屋野小学校のパートナーシップ事業とコラボして出前講座を開催しています。</p> <p>令和2年度からは、「住まう鳥屋野、女池上山を学び・楽しむシリーズ」と銘打ちまして、今年度はその第3弾ということで、「知って備える鳥屋野地域の防災」をテーマに、9月28日（水）午前中に上山中学校の調理室をお借りして開催いたします。この事業については、各校の地域教育コーディネーターさんと当館の職員で、何度か企画会議を持ちながら企画し、運営しているものです。参加対象者は、上山中学校区にお住まいの住民のみなさん16名ということで募集する予定です。講師は、新潟市防災士の会の方をお願いしています。前段は、大雨等による当地区の水害の危険エリアの確認や、その（大雨の）場合の身の守り方等についてお話しをしていただいて、後半は、炊飯器を使わずに米を炊く方法を実演していただく予定です。</p>
<p>東片桐館長</p>	<p>地域活性化支援事業ですが、3年目を迎えました。「HAVE FUN！英語で法被でまちあるき」という事業で、手元にカラー刷りのチラシもあると思います。既に開催しております。開催の主旨としては、沼垂地区の活性化をはかることを目的に、万代高校の英語部の生徒が沼垂地域を英語で紹介し、外国人さんと交流をはかりながらまちあるきをおこなう事業です。万代高校の生徒の学習成果を地域に還元する機会を提供し、地域団体等の協力も得て事業を実施し、学社民の融合をはかりました。</p>

開催日は、7月16日（土）午前9時半から午後1時です。

3年目の事業にして、過去2回は土砂降りでしたが、おかげさまで今年は晴天の中実施することができ助かりました。参加者は、新潟市に暮らす、又は通う外国人13人集まっていただきました。地域のボランティアの方は43人で、合計して56人で東地区公民館から沼垂テラス、寺町を散策する事業になっています。公民館と沼垂テラスの間にお寺があったり、お菓子屋、お茶屋さんから協力いただきました。

3年目の事業で、1～2年目の時は浴衣でしたが、今年度は地域の町内の方から法被をお借りしました。沼垂まつりの法被を貸してくれるとのことで、4地区の方から40枚くらい法被を借りて、その法被を着た外国人さんと学生がまちあるきをしました。

企画委員は、地域ボランティア、沼垂コミュニティ協議会、NPO法人なじらね沼垂さん。あと今年から、もともとは、公民館から各学校の方に、こういう事業があるので、外国人や留学生に教えてもらえませんか各学校にお願いしていたのですが、今年は、国際ブライダル専門学校の方から逆提案があり、過去2年間、外国に生徒が行けないので、英語が話す機会がないからこの機会に協力させてくださいと学校の方から提案がありましたので、今年は専門学校の学生5人が今回の事業に協力してくれました。あと、万代高校の方は、英語部のみなさんがまちあるきしたんですけど、お手元にあるチラシの裏面・表面の絵は、万代高校美術部さんからご協力いただき、デザインしてもらいました。

あと、参加費の中で400円、抹茶代と和菓子代となっているんですけど、ここの和菓子の方なんですけど、茶道部の方からご協力いただいて、抹茶の上練り菓子のデザインを考えていただきました。蛸と笹舟というようなタイトルで提案させていただきました。

今年度は、万代高校出身の大学生が、高校生の際に参加して面白かったのということで、大学生になって今年、当日参加してくださった学生さんも4人ほどいらっしゃいました。実際まちあるきして、反省というわけではないですが、今回、国際ブライダル専門学校の方から、「まちあるきして楽しかった」、逆にその経験をした学生が自分達でも何かしたいということで、公民館の方に、私たちとゴミ拾いをしたいんだという提案をいただいたんですけど、今、もう少し具体的な連絡をいただいたところで、まだ何もスタートしていないんですけども、公民館が、若い人にアピールできないということで、こういった若い人から、ボランティアに入ってもらうのは嬉しいのですが、逆に、若い人から、こういうことがしたいから公民館協力してね、と言われてしまうと、公民館はしどろもどろになってしまう。自分達がということで、若い人に提案して、こういうところに若

司山委員	<p>い人に入ってもらおうねということだと、公民館は頑張れるんですが、向こうの方から、「こういうことがしたい」と言われてしまうと、公民館は、「あれ？どうすればいいんだろう」となってしまうところがあって、募集はするけれど逆提案にしどろもどろになってしまうということに驚いています。</p> <p>以上になります。</p> <p>司山さんの方から高校の方、もし何かありましたら。</p> <p>私は万代高校のコーディネーターをやっていますので、この事業に関わらせていただいているんですけども、万代高校の英語部の生徒たちにとっては、このまちあるきを部活でやろうとなった年から、非常に生徒たちが生き活きとしはじめまして、今まで部活動もあまり動いていなかった英語部が、最近では、まちあるきのために頑張ろうということで準備をしてくれています。そこから部員も少しずつ増えたりしてしまっていて、学校としてもありがたいなと思っていますし、3 年目になって、OB の生徒たちがお手伝いに来てくれるというような循環もできているので、これはずっと継続した事業になれば、今、高校生も公民館になじみがある場所ということで通ってくれるようになるし、大学生もまたそこに戻ってきてくれるという事業になっているので、私自身もやっていてよかったなと感じています。</p> <p>英語部以外にも他の部活動にもつながりを作って広げていける事業になったらいいなというところで、他の部活動のみんなにも声をかけて、また来年度もいい事業になったらいいなと思っています。</p>
中央・ 今城	<p>「オンライン家庭教育学級」についてご説明いたします。中央公民館では、コロナウイルス感染症が出始めた頃より Zoom を使ったオンラインの講座をいろいろとり入れております。本事業は、乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にオンラインを活用して、参加者同士と公民館をつなぎ、交流や学習の機会を提供することを目的としています。コロナ禍の中でもリスクを気にすることなく、未就園児のお子さんと一緒に、自宅から気軽に参加していただける事業です。今年度は、「おうちで親子ヨガ」と題して、全2回の講座を企画しました。1 回目は、Zoom の接続確認もかねて、オンラインでのおしゃべり会を7月28日に開催しました。参加者の感想では、「対面では見られないマスクを外した顔を見ての会話は久しぶりで楽しかった」「仕事以外で初めて Zoom を利用した」「家にいながら私も子どもリラックスして参加できた」など、オンライン講座ならではの感想が多かったです。2 回目は明日になりますが、講師は公民館に来てもらい、オンラインでヨガの体験講座を行います。参加者は各家庭からの参加です。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 14 枚目

<p>東・ 片桐館長</p>	<p>東地区公民館の「幼児期家庭教育学級」の「育休復帰準備セミナー」です。 東地区公民館では、ゆりかご学級が春に開催されています。講座開催後、仲間づくりということで公民館の利用団体としてそのままグループ化してもらいなんですけれども、その後、1年くらい経つと、仕事復帰するお母さん達が増えてきますので、「復帰ってどうすればいいんだろう」というような利用者の話に合わせて育休復帰セミナーを実施しています。</p> <p>ここに、開催時期3月となっていますが、資料作成した時点では、3月に講座をやって4月復帰と考えていましたが、その後職員で話しをして、3月では遅いから12月に実施しようということになり、12月にやる予定にしています。目的としては「育休中の親同士が共に学習し、復帰や子育てに関する悩みを話し合い、育休明けの職場復帰・復職を安心してできるようにする」ための事業です。開催時期は、今年の12月3日・10日を予定しています。対象としては、育休復帰する子育て中の保護者を対象としています。事業については、まだ講師交渉中ですが、県の女性財団の木村いほ子さん他の講師を予定しています。内容としては、育休明けの親が安心して職場復帰できるように共に学習すること。本来であれば、去年からこの事業をやる予定だったんですけれども、3月の臨時休館でやらずじまいで終わってしまいました。申し込みだけはやっていたのですが、申し込んだ方から「育休復帰が未知の世界で不安。何か少しでもヒントがあれば」「子どもの精神面が不安。分からないことが多いため、情報交換の場が欲しい」というようなニーズが多かったので、今年度も実施を決めました。</p>
<p>鳥屋野・ 原館長</p>	<p>基本施策3の「青少年の生き抜く力を育む機会の充実」というところで、当公民館の子ども体験事業についてご説明いたします。</p> <p>当館では、夏休み期間中に4つの子ども体験事業を開催します。</p> <p>1つは屋外でおこなうもので、他の3つは公民館でおこなうものでございます。</p> <p>まず、既に実施済みの「野外体験」ですが、県庁の森でセミの羽化観察会を開催しました。定員は小学生とその保護者15組で募集しましたが、コロナということもあり、当日子どもさんが発熱した等でキャンセルがあり、参加は12組となりました。セミの羽化を生で見ると初めてという方が多くいらっしゃいました。森に入り、羽化が始まると親子で熱心に観察する姿があちこちで見られました。</p> <p>それから、公民館でおこなわれる3つの体験事業は、「とやのクエスト」と銘打ちまして、3つの体験事業を用意しました。</p> <p>1つは、缶バッチの制作ということで、7月28日（木）の午後に、小学生20人の参加を得て開催しました。あと2つはこれからの実施で、「水族館はおもしろい」は8月5日（金）、キーホルダー制作は8月9日を予定しています。</p> <p>4事業とも、定員を大幅に超える申し込みがありまして、セミは、定員15組に対</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 15 枚目

<p>関屋・ 関口館長</p>	<p>しまして、31 組、缶バッチは定員 20 人に対しまして、61 人、水族館は定員 30 人に対して 37 人、キーホルダーは、定員 20 人に対して 45 人と、主催者としては嬉しい悲鳴だったのですが、抽選により受講者を決定させていただきました。</p> <p>「わくわくランド」について説明させていただきます。</p> <p>この事業は、子ども達の週末を有意義なものにするために、様々な体験活動の場を提供すると共に、多学年の交流・仲間づくりをすすめるという目的があります。事業の対象は、1 年生から 6 年生までの小学生 20 人を予定しています。開催期日は、9 月から 1 月まで、第二土曜日、月 1 回、全 5 回で開催する予定です。</p> <p>各回のプログラムは、木工作、防災ゲーム、大学生との交流、けん玉の体験、レクリエーションというようなことで組んであります。</p> <p>募集開始は、8 月 8 日（月）から市のホームページ、区役所だよりに記事掲載の他、関屋地区公民館管内の小学校 3 校にチラシ配布をお願いする形で告知しております。</p> <p>今現在、各学校の方と情報交換しておりまして、コロナの感染状況等、色々気になることはあるのですが、対策をしっかりとしながら実施していきたいと思っております。</p>
<p>東・ 片桐館長</p>	<p>次は、基本施策 4 の「公民館サイエンス」です。</p> <p>例年やっていて、東地区公民館の名物事業になっています。</p> <p>今年文化祭がなくなったので、秋に開催する予定になっています。1 回目は、ブラックホールについて、新潟日報にも記事が掲載されたのですが、新潟大学の小山先生に天の川でブラックホールを発見した話をさせていただくことになっていて、今回の公民館サイエンスの目玉かなと思っています。2 回目は、水素エネルギーについて、新潟大学名誉教授の原田先生からご講演いただきます。3 回目は、手について、新潟医療福祉大学の藤目（ふじめ）先生からご講演いただきます。4 回目は、越後平野の成り立ちについて新潟国際情報大学の澤口先生からお話しいただきます。</p> <p>もともと、公民館は団塊の世代の男性の参加が少ないという課題に対して、公民館サイエンスを中心に、公民館に来る機会になったらということでこの事業を実施しています。</p>
<p>関屋・ 関口館長</p>	<p>「おも知る関屋学」について説明させていただきます。</p> <p>関屋地区及びその周辺の歴史や文化等の学習を通じて、地域への理解や愛着を深め、地域づくりを考える機会とすることを主旨としています。</p> <p>高齢者のくくりになりますが、地域づくりという側面が大きいものです。</p> <p>もともと、関屋地区公民館で地域を学ぶ講座がありまして、その受講生だった方</p>

	<p>達の中から有志の方が手を挙げまして、企画委員として積極的に事業に携わってくれています。およそ 30 年近く続いている歴史のある講座になります。</p> <p>毎回のテーマは、様々な地域の歴史や文化を掘り下げる内容が、地域住民の方ならではの視点でチョイスされており、非常にバランスのいいものになっていると感じます。講師も、企画委員の方達が交代で担当していますので、地域の方が企画し、講師も担当し、資料も集め、やっているものです。</p> <p>非常に参加者の多い事業で、いつも定員いっぱいになります。令和 2 年度はコロナ禍で中止となり、昨年度は、参加者を 2 組に分けて 2 部制にして密を避ける形で実施しました。</p> <p>今年の申し込み状況は、例年より少なめの 28 人の申し込みとなりました。</p> <p>今回は、協議の結果、会場を工夫する形で 2 部制にはせず、1 回で実施することになりました。地域住民の方と公民館の担当で密に企画を立てたり、相談する姿が見られますので、今後も関屋地区公民館としては大切にしていきたい事業と考えております。</p>
中央・ 今城	<p>「公民館 よのなか科①」と「公民館 よのなか科②」についてご説明いたします。本事業は、「地域課題や世の中の気になること、知りたいことを幅広く学び、地域交流を図る」ことを目的に昨年度より開催しております。今年度は 2 本立てで、①では、地域にでかける「まちカフェ公民館」として、異人池建築図書館喫茶店を会場に建築家である東海林 健（しょうじたける）氏を講師として講座を開催いたします。異人池建築図書館の取り組みを知って、イベントに頼らない静かな賑わいのあり方について学び、これからの新潟のまちづくりについて、建築家の視点から学びます。募集は始まって、締め切っているのですが、若者からシニアまで、普段お勤めの人も参加しやすいように夜間開催の設定にし、8 月 1 日までの募集締め切りをまたず、現在 18 人の募集があります。年代も 10 代から 70 代以上まで幅広い層のお申し込みがありました。②では、昨年のよのなか科で好評だった、新潟大学名誉教授である眞壁五郎氏を講師として、会場とオンラインのハイブリット開催で開催いたします。2 回連続講座となっております。</p>
鳥屋野・ 原館長	<p>「とやのコンサート」についてご説明します。</p> <p>本事業は、新規事業です。</p> <p>昨年度 3 回連続講座として実施した「いきいきセミナー」という講座の 3 回目に「懐かしの映画音楽をグランドピアノで」というテーマで、ジャズピアニストの青木まさみさんのピアノ鑑賞会を開催したところ、大変好評で、それを受けて今年度音楽の鑑賞会を企画したものです。1 回目はピアノコンサートで、7 月 29 日の午後に開催しました。定員 40 名に対して、受付開始 1 時間程度で定員に達し</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 17 枚目

	<p>ました。5人までキャンセル待ちを受付ました。当日ですが、ジャズピアニストの青木昌己さんが体調を崩されて、奥様の青木裕子さん一人の演奏会になってしまったのですが、20曲程度ご披露いただきました。曲の頭に簡単な紹介を交えながら、参加者からは大変好評でした。コロナの感染拡大もあり、当日のキャンセルも出まして、40人の定員に対して34の方が参加となりました。</p> <p>2回目は、10月30日に計画しているのですが、馬頭琴というモンゴルの琴の演奏とモンゴルの民話・物語の鑑賞会を予定しています。</p> <p>当初は、予算の関係もあり、2回ということで考えていましたが、県の文化芸術ふれあい提供事業の「出前コンサート2022」に応募してみたところ、採択されたので、3回目を実施することになりました。</p> <p>出演者の謝金・旅費は県が負担するので、公民館からの持ち出しは消耗品の負担程度になると考えています。3回目は、12月にゴスペルの鑑賞会を検討しているところです。</p>
<p>関屋・ 関口館長</p>	<p>関屋地区公民館の「森のコンサート」ですが、自然の中で地域住民の方が集っていただき、音楽を楽しみながら交流をすることを目的として平成21年に始まっています。関屋の念仏寺の協力を得て、境内を会場として関屋中学校の合唱部、あるいは公民館で活動する音楽サークル、それからプロの音楽演奏者の方をゲストとしてお招きして合同の形の野外コンサートとして開催しておりました。</p> <p>令和2年度、3年度は開催が中止となっております、今年度も開催は難しい状況となっております。コロナの状況に加えて、関屋中学校の合唱部が解散していることもあり、どうするか仕切り直しが必要となっております。</p>
<p>中央・ 今城</p>	<p>資料6の5枚目の裏面をご覧ください。「公民館職員研修」についてご説明いたします。こちらは市民向けの直接の事業というよりは、公民館職員の質を高めることにより、結果、市民に還元されるように、公民館の中で研修委員会を設けて、委員会が主体となり進めていきます。研修の内容は、「新任職員研修」、「スキルアップ研修」、「全職員研修」の大きく分けて3つがあります。新任職員研修は、公民館に初めて勤務する職員を対象として、基本編と実践編の2回開催しています。基本編では、社会教育全体に関することや公民館の役割や新潟市の公民館の方向性を学んだり、窓口業務について話を聞く機会があります。実践編では、事業の企画、公民館の保育室、男女共同参画について学びます。スキルアップ研修は、職員それぞれの知識や技能を高め、日頃の公民館業務に役立てる内容を企画しますが、今年度は、1つの研修を企画するのではなく、6つの内容を用意して、それぞれの必要とする内容の研修に職員が参加できるように企画しました。内容は「1. チラシ作成研修」「2. 公共予約システム操作研修」「3. Zoom 操作研修</p>

	<p>(入門編)「4. Zoom 講座研修」「5. 家庭教育支援プログラムの活用研修」「6. 社会教育主事的資質の向上研修」というものです。特に、新型コロナウイルス感染症がでてきてから、オンラインの講座が行われるようになり、公民館としては、実際に集って交流することが一番なのですが、今後はオンラインという手法は公民館職員にとっては必要なスキルであり、強みになると考えております。対面を重視した講座の開催とは別に、できれば、すべての公民館職員が身につけるスキルとなることをめざして、研修委員会でも積極的に取り入れていくことにしました。</p>
藤瀬議長	<p>ここまでの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
齋藤委員	<p>一般的な話になりますが、幼児とか小学生の講座は充実しているようですが、それより上の小学校高学年から中学校、高校のあたりの活動があまりないのは需要がないからなのか、どうなっているのかをお聞かせください。</p> <p>それから、事業ですが、万代高校の話をお聞きして、そういった活動をやりたいグループと公民館が主体的に活動を決めていく事業と2種類あると思うのですが、そういう要望があった場合、公民館としてどういうふうに取り上げていくのか、どうしていくべきか。私は、もしそういう要望があって、取り上げる価値があるならば、公民館が率先して取り上げていくべきだと思うのですが、委員のみなさん、どんな考えを持っておられるかお聞かせいただきたく、質問させていただきました。</p>
藤瀬議長	<p>1点目の、事業の対象年齢が、乳幼児や小学校低学年向けの事業は多いけれど、それより上のお子さん、生徒さん達にとっての事業の少なさというのが、需要が無いことなのかというあたりは、事務局に聞いてみたいと思います。いかがでしょうか？</p>
東・片桐館長	<p>小学生は募集がかけやすいのですが、中高生となると部活が主流になるので、公民館事業よりも部活となってくるので、難しくなります。</p> <p>万代高校との事業においては、英語部や美術部、茶道部等、部活を対象としたので、部活の延長の中で一緒にコラボしてやっていけるのではないかと考えてやっています。</p> <p>今回の事業は3年目を迎えて、1年目はお互い何していいかわからないところもあるんですが、3年やっているといいところと悪いところが出てきます。いいところとしては、何度もやっているから、阿吽の呼吸が生まれてくるんですけども、今度、お互いがお客になった時、うちの方としてはお願いするけれども、公</p>

	<p>民館が学生さんに望んでいるような沼垂に関する知識が学生さんには無いものですから、そこは司山さんの方から補ってもらって、沼垂のまつりに関係する人を講師として呼んできてもらって、沼垂の事を紹介してもらったり、万代高校の ESS 英語部のみなさんが沼垂の地域をまちあるきして、どうやったら外国人に教えられるのか等、毎年スキルアップしてブラッシュアップしています。</p>
司山委員	<p>高校生向け・中学生向けの事業ということで打ち立ててやるよりは、事業に関わってもらって、一緒に何かを作るっていう方向でいくと、必然的に公民館に足を運ぶようになるので、それが循環になると感じているので、今回、偶然、公民館に提案していただいた事業に万代高校の生徒が乗っかるような形になったのですが、通学途中に公民館があることを知り、施設自体に立ち寄るきっかけになったので、そんなふうにして、今後公民館事業の中でも高校生と何かを作ろうという、今、中央公民館でも取り組まれているような、若者と一緒に何かをやっていくという形がいいのかなと実感として思っています。</p>
阿部委員	<p>中学生は、部活動や受験勉強があり、個人単位でこういった事業に参加するのはハードルが高いのかなと思っています。小学生だと親御さんと一緒に参加するということで、大人が背中を押して参加することができますが、中学生はなかなかそれは難しいかなと思っています。</p> <p>ただ、今年度から、一律、小・中・高校すべてコミュニティスクールっていうことで、地域と共にある学校づくりということがひとつのテーマになっていますので、地域で何を学ぶか、地域から何を学ぶか、というか、地域の人材をどう教育活動に活かしていくか、ということで、どの学校も色々試行錯誤してこれからしていくという場面が出てきますので、学校との連携事業というのが公民館の方にいくつかあるのですが、そういったところから公民館との関わりを増やしていくということが可能性としては多いにこれから広がっていくのではないかなと思っています。</p> <p>あと、部活動の地域移行ということで令和5年度から3年間かけて、休日の部活動を地域移行していこうというような方針が示されています。将来的には、部活動は完全に地域にもっていこうということがあるわけです。そうなってくると、中学生・高校生の時間が増えますので、そういったところの受け皿となるのが公民館という部分も出てくると思います。そういったことも踏まえながら、この先を見通して色んなことを考えていただくと、こちらとしてはありがたいと思います。</p>
齋藤委員	<p>色々なグループから出てきた活動計画と、公民館自体が作った事業計画をどういうふうに合わせて、どこを主流にして今後将来的に考えておられるのか、公</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 20 枚目

<p>藤瀬議長</p> <p>中央・ 渡部館長</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>民館側にお聞きしたいです。</p> <p>2 点目ですね。</p> <p>活動をやりたいという団体さんの方なのか、それとも公民館が企画したものに参加してくださいということなのか、どのへんに軸足をおいたり、どうバランスをとっていかということでしょうかね。</p> <p>理想論は、提案に対して、事業担当職員がいますので、そこは打ち合わせをしながら、どういうやり方ができるかすりあわせになると思います。どちらかの圧が強すぎて押し付けになってもよろしくないでしょうし、せっかくご提案をいただいたのに、例えば予算が無いからダメと言っていたのでは話にならないですから、すり合わせをして形になっていくのが一番いいのかなと思います。</p> <p>阿部校長先生からもお話がありましたが、コミュニティスクールという関係で、学校の運営にも社会教育の方、私たち公民館も入っていきながら、地域とつながりながらやっていきたいと思いますというのが大前提にやっていきますので、それがサークルの方々からの提案であったり、地域の方々からの提案であったりとなった時には、ひとつひとつ相談させていただきながらお話しを聞いて、担当と積み上げながらということになってこようかなと思います。</p> <p>貴重な投げかけ、委員の方からのご質問ありがとうございました。</p> <p>それでは、事業につきましては、ここで閉じさせていただきたいと思います。それでは、事務局にお返しいたします。委員のみなさま、ご協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>(4) その他</p>	
<p>中央・ 渡部館長</p> <p>井上委員</p>	<p>最後になりますが、私の方からみなさまにご相談というか、投げかけをさせていただきたいと思います。</p> <p>現在、公民館運営審議会は、北区から西蒲区まで全部で8つあります。この審議会のあり方を見直した方がよいのではないかと、というご意見が出ています。各区の一つは要らないのではないかと、ひとつにまとめても良いのではないかと、というご意見もあれば、区ごとに必要だというご意見もあり、色々なご意見があります。</p> <p>「新潟市公民館運営審議会」としてひとつにまとめた方がいいのか、今までどおり各区で持っていた方がいいのか、今後の運営を考える上で、みなさまにもお考えがあると思うので、今ご発言いただいてもいいですし、後日事務局にご意見をお寄せいただいてもいいので、お聞かせください。</p> <p>今おっしゃったのは、区割りについて、ある程度まとめるか、統合するかどうするかというお話しでしょうか？</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
21 枚中 21 枚目

<p>中央・ 渡部館長 藤瀬議長</p>	<p>そうです。ひとつに統合するというのもひとつの考え方でしょうし、みなさんがどうお考えになられるかということをお聞きしたいと思います。</p> <p>色々なご意見が出ているということですが、その背景や理由はお聞かせいただけるものはありますか？</p>
<p>中央・ 渡部館長</p>	<p>組織として考えた時に、各区に1つは多すぎるのではないかという意見が出てきました。統合は、私たちの独断でできることではないので、みなさんのご意見をお聞きしたいと思いました。</p>
<p>阿部委員</p>	<p>区割りは区ごとにあった方がいいです。他の区の話をお聞かせされてもピンとこないのです。あと、運営審議会は、今回の内容を見ると、令和3年度の報告があり、令和4年度の計画があり、1回で終わる内容なので、回数的には1回でいいのかなと思います。</p>
<p>中央・渡辺館長</p>	<p>ありがとうございます。そういったこともご意見として承らせていただきます。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>私も、8地区がいいと思います。</p> <p>鳥屋野地区公民館さんの活動は、規模は小さいですが、素晴らしいなあと感じております。そういう地域性があるって、それぞれの公民館が努力して素晴らしい活動をやられている状況は、今のレベルの審議会の方がよろしいと思います。一つにまとめてしまうと、わけが分からなくなってしまうので、現状維持を希望します。運営審議会の回数は、3回はちょっと多すぎると思うので、1回か2回か。2回くらいあってもいいんじゃないかと思います。</p>
<p>閉会</p>	